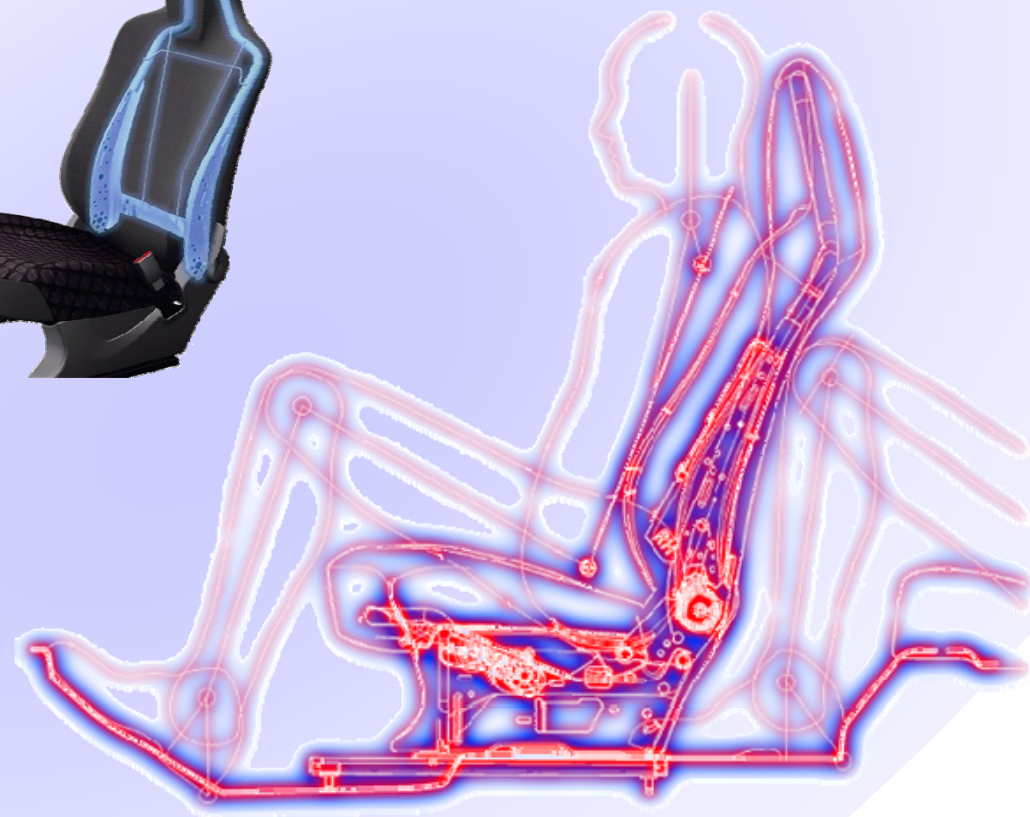
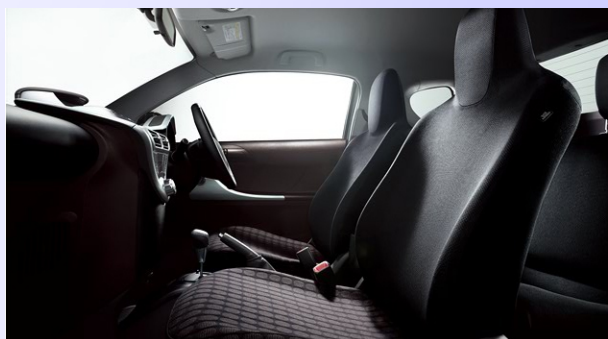


2009年3月期 第2四半期決算説明会



第2四半期決算説明会 目次

1. 09/3期 第2四半期決算状況
2. 09/3期 業績予想



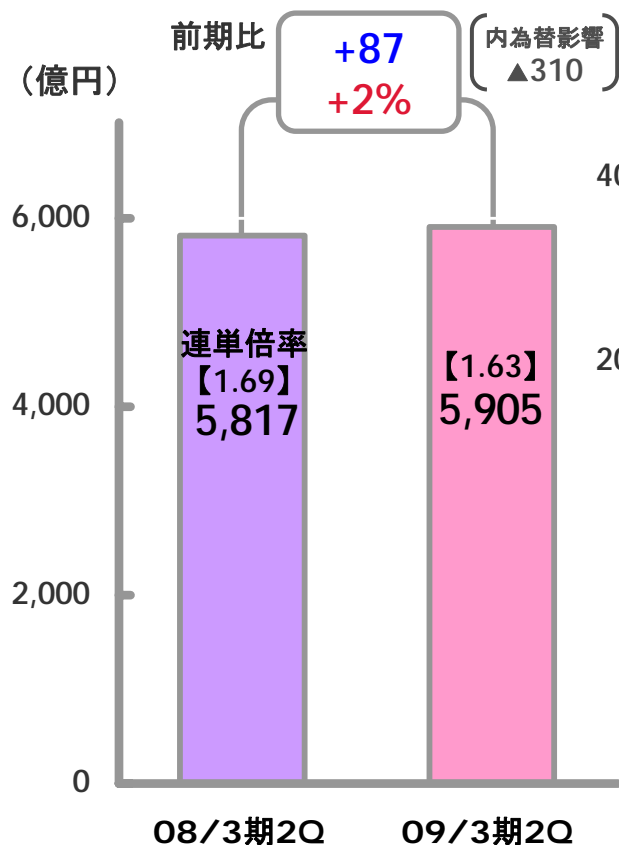
1. 09/3期 第2四半期決算状況



1-(1) 09/3期 第2四半期決算状況

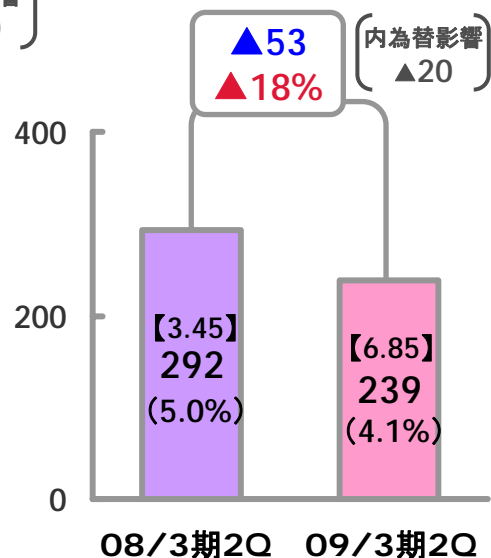
9期連続の増収 利益は5期ぶりの減益

売上高



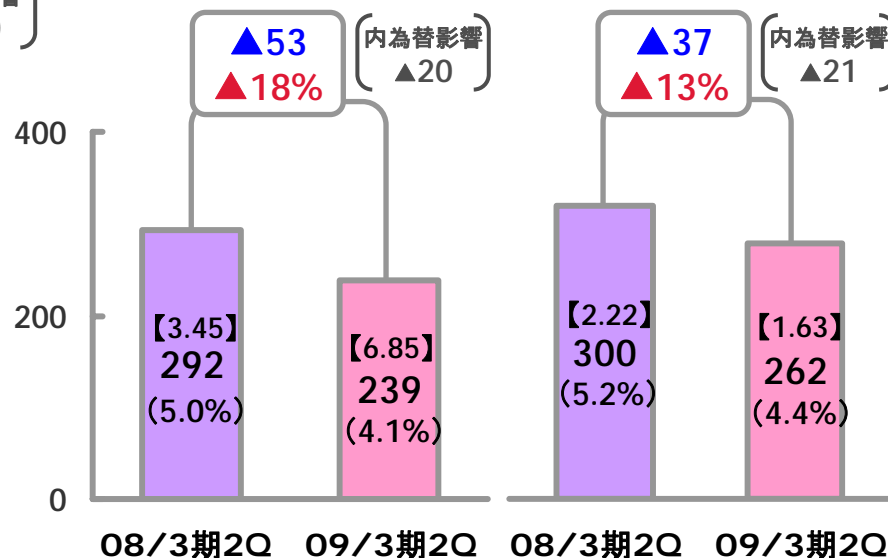
営業利益

(営業利益率)



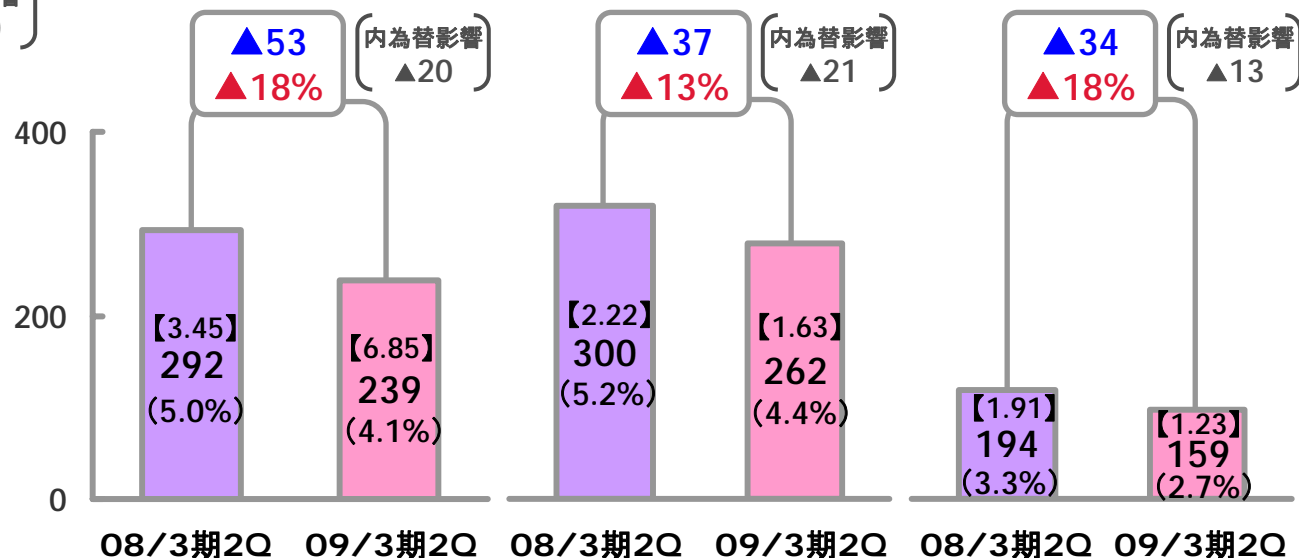
経常利益

(経常利益率)



当期純利益

(当期純利益率)



1株当たり当期純利益

103.77円 → 85.45円

配当金

15円 → 15円

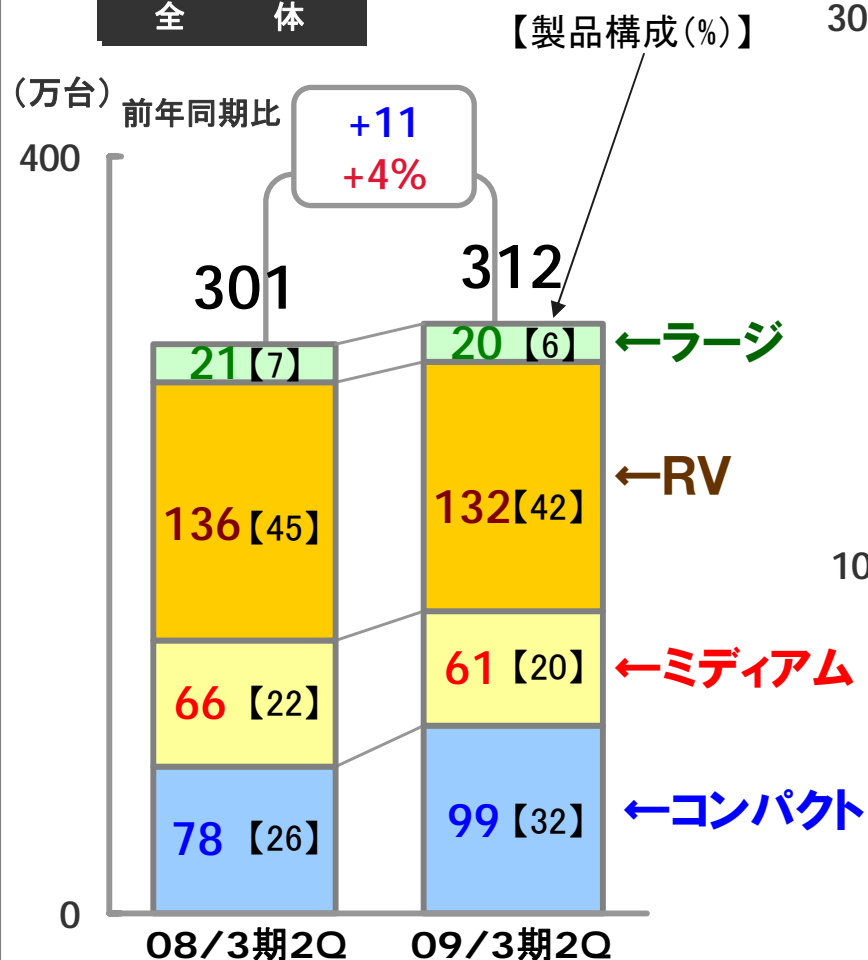
米ドル	119.33円	106.11円
人民元	15.57円	14.86円
タイバーツ	3.75円	3.21円

1-(2) 09/3期2Q 地域別売上台数

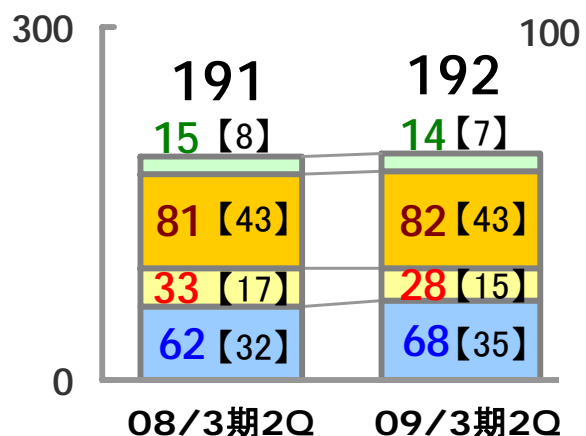
売上台数は微増、各地域ともにコンパクト車へシフト

シートASSY台数

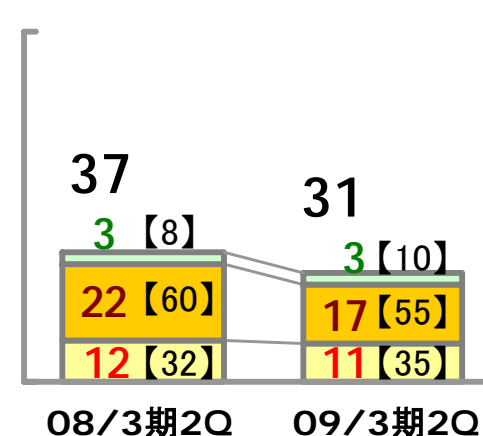
全体



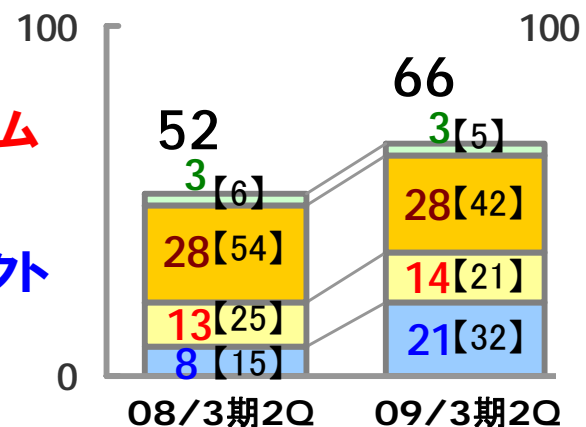
日本



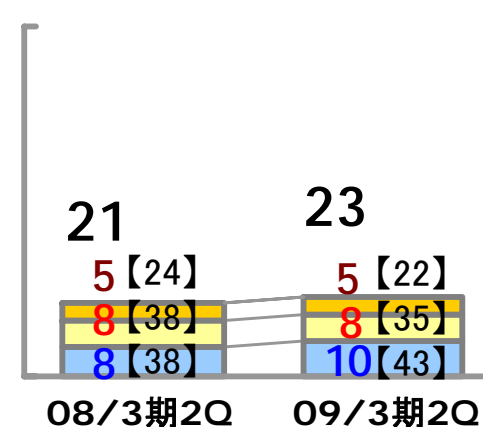
北中南米



アジア



その他

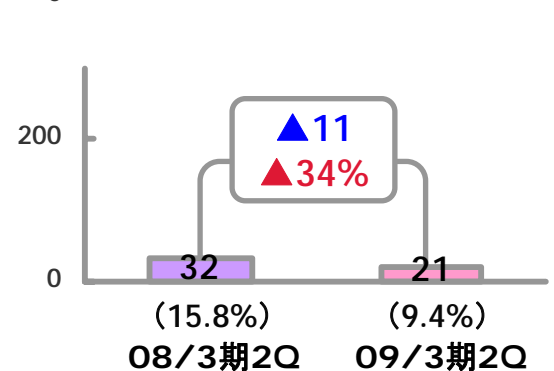
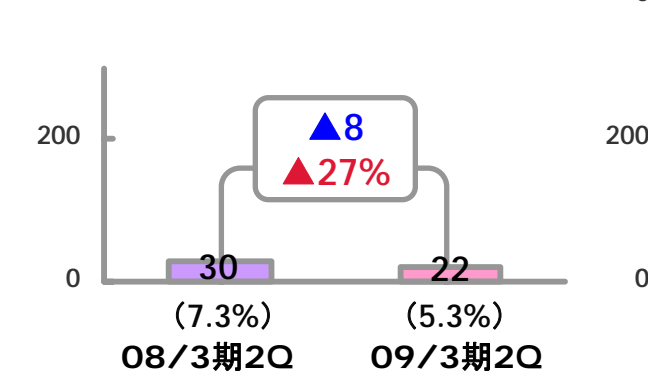
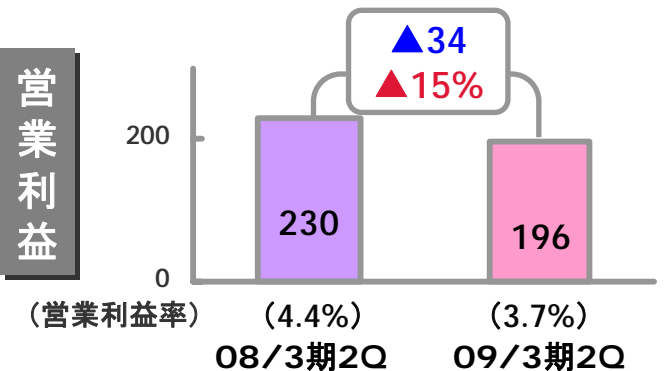
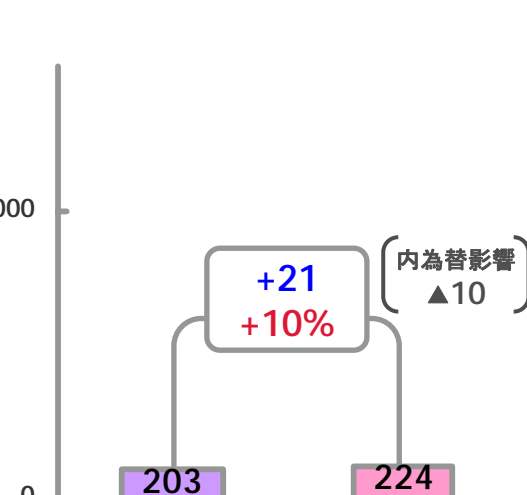
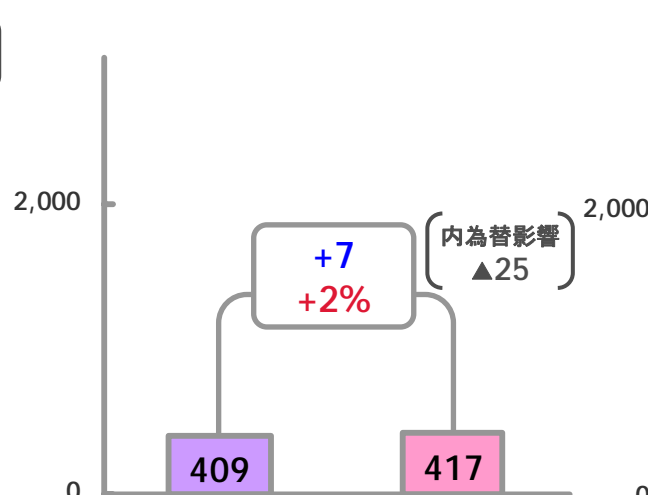
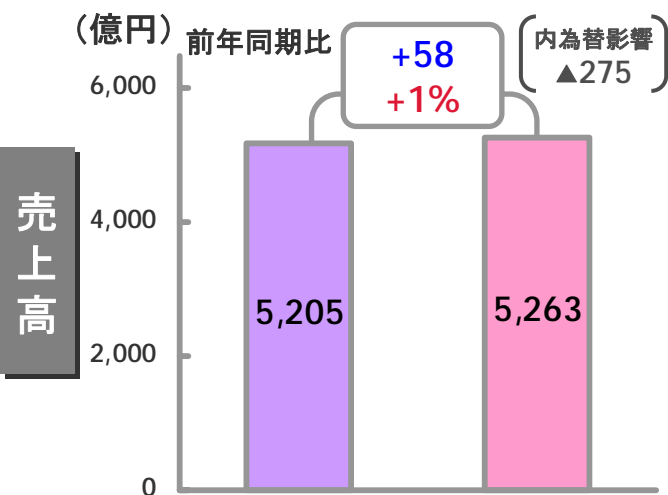


1-(3) 09/3期2Q 事業別売上高・営業利益

内装品事業

フィルター・パワートレイン事業

繊維・外装品他事業

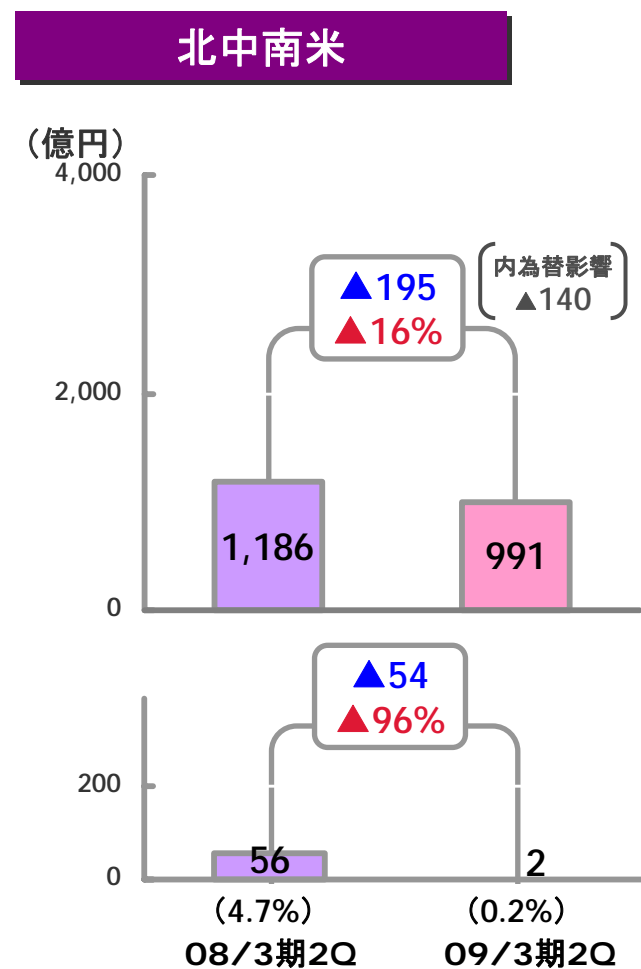
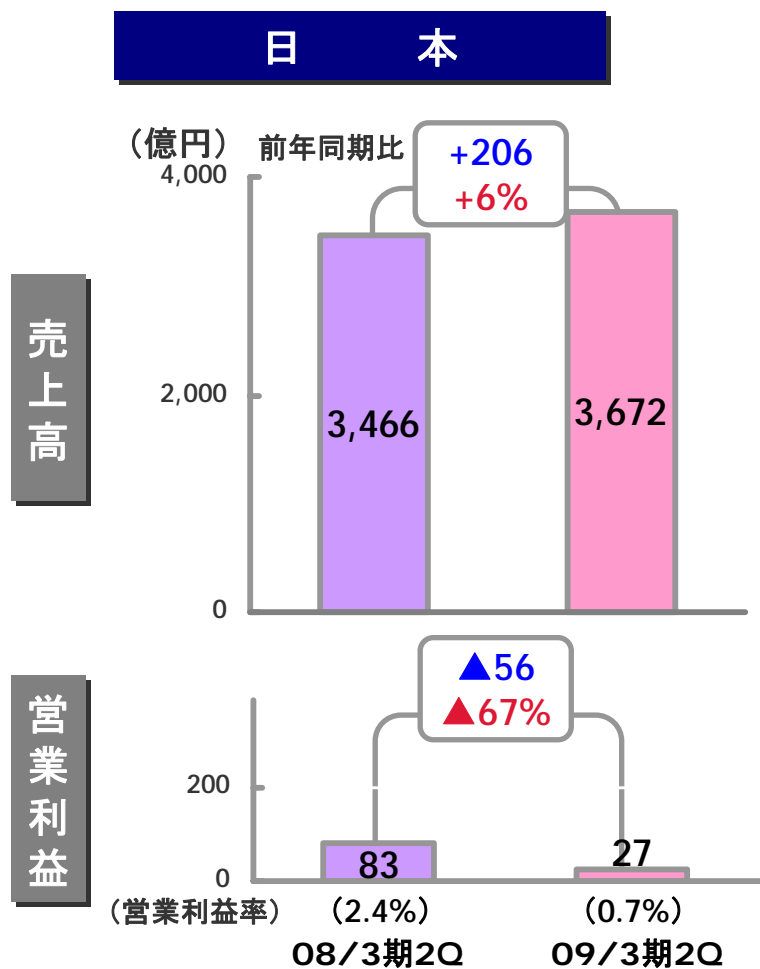


・国内は新車効果、海外は前期立上り車種の寄与などにより増収

・中国 エアフィルターの新規受注などにより増収(中国・佛山)

・国内はバンパー受注増、海外はカーテンシールドエアバックの受注増などにより増収(ベトナム)

1-(4) 09/3期2Q 地域別売上高・営業利益①



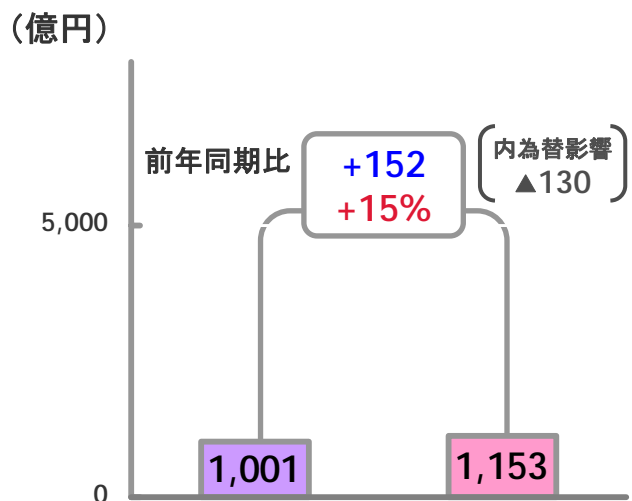
- ・新車効果や新規車種の増加などにより増収
- ・車種構成の変化や固定費増加などにより減益

- ・経済減速による台数減により減収
- ・新規子会社の立上げ費用増加(減益要因)

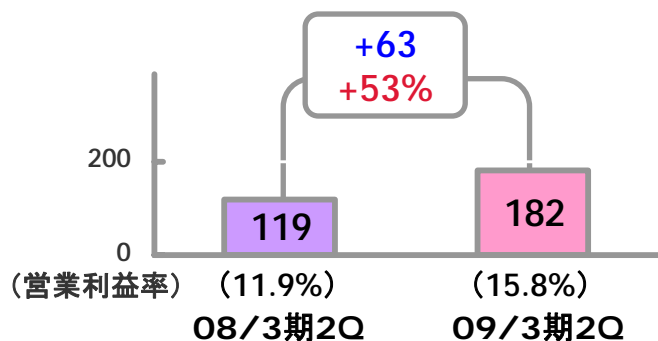
1-(4) 09/3期2Q 地域別売上高・営業利益②

アジア

売上高



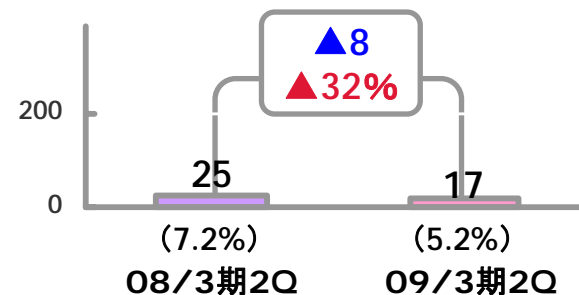
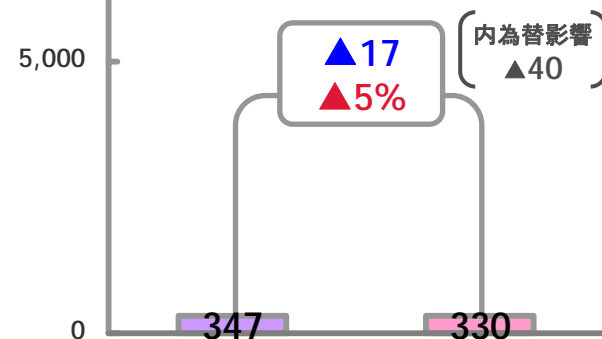
営業利益



- ・中国天津 カローラ(前期立上り)の寄与などにより増収
- ・合理化も寄与して大幅増益

その他(欧州、南ア、豪州)

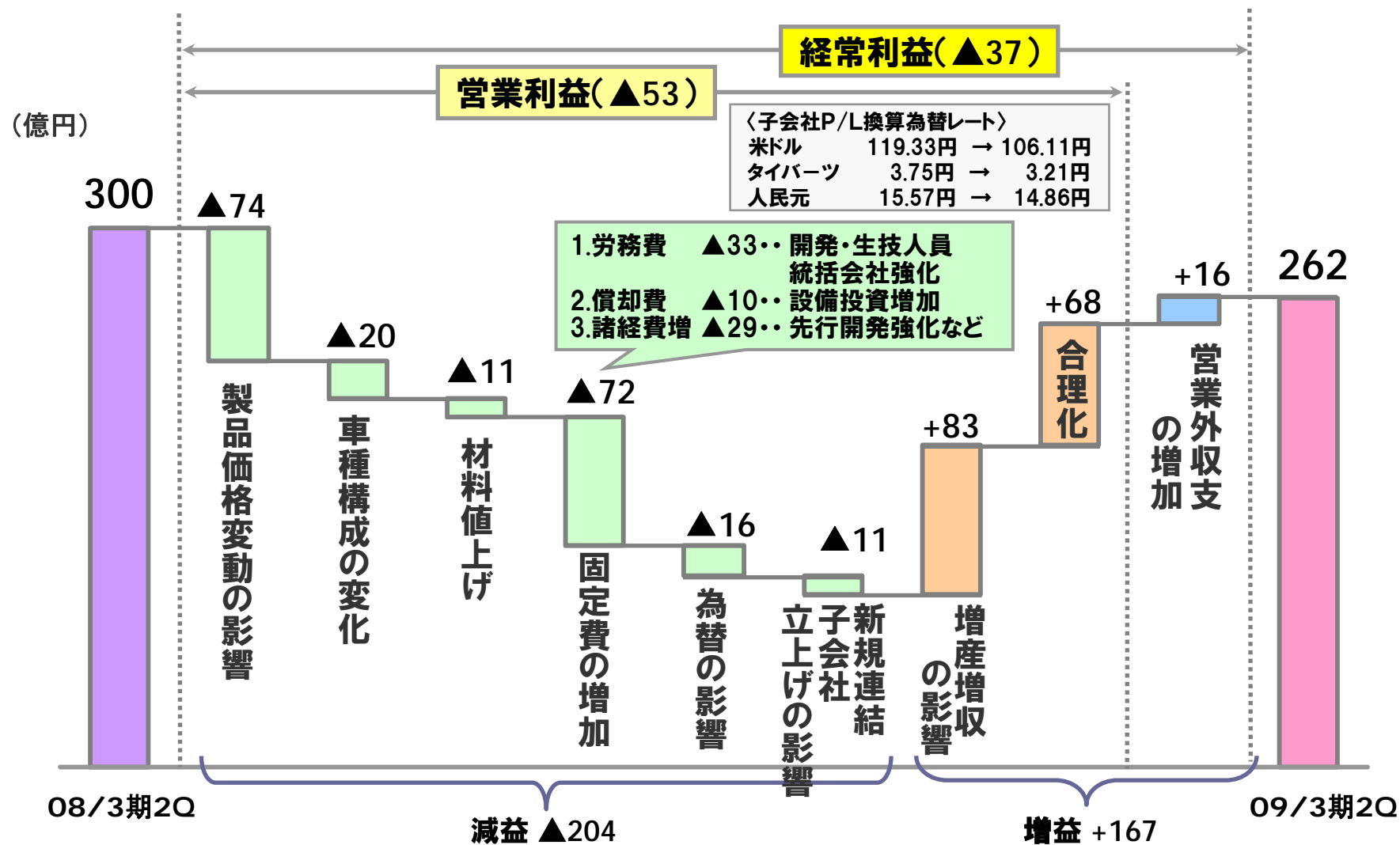
(億円)



- ・南アフリカ カローラ(前期立上り)の寄与などにより、実質売上高は増収
- ・TBロシアの生産準備費用(減益要因)

1-(5) 09/3期2Q 経常利益増減要因

車種構成の変化、将来のための先行投資などにより減益

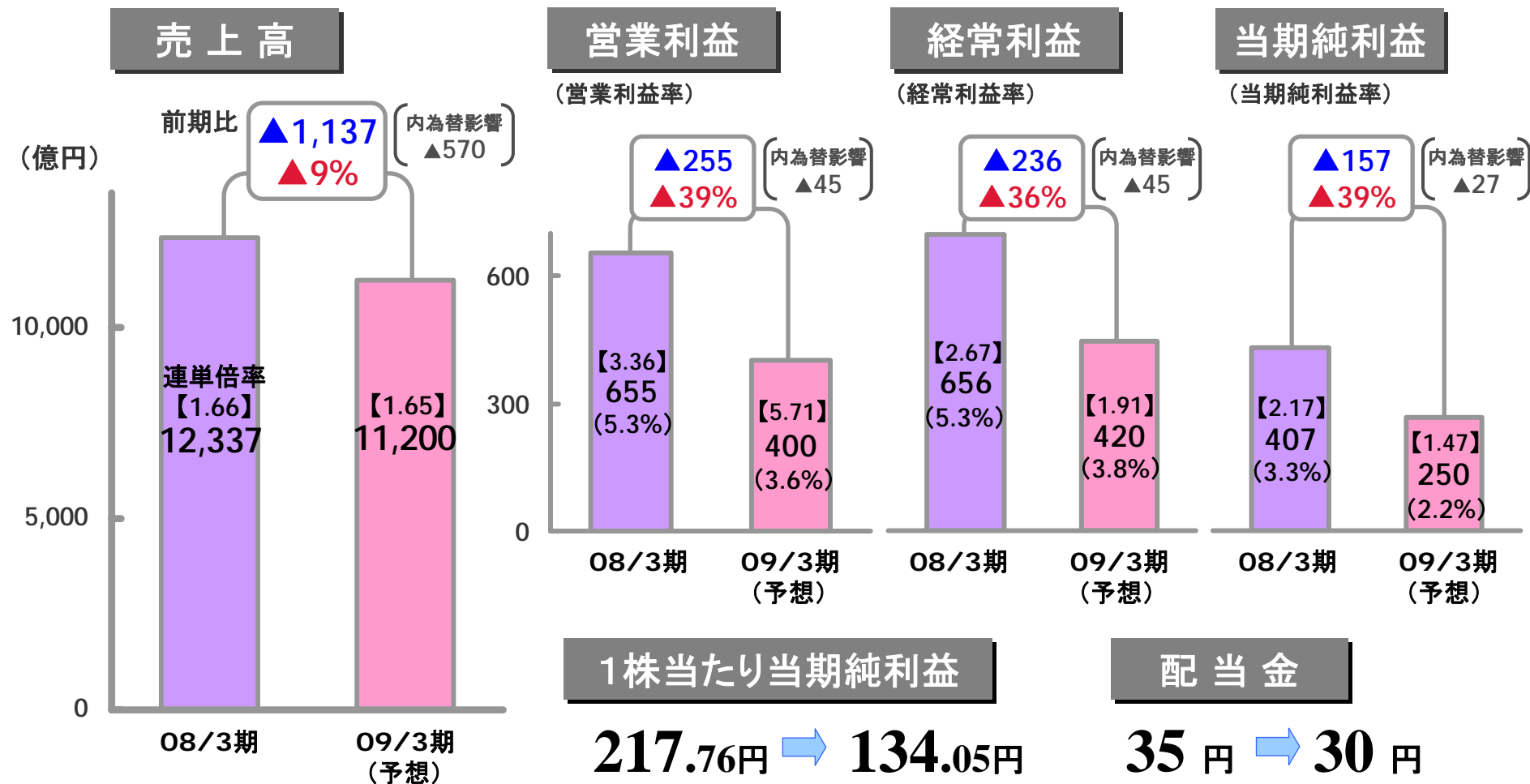


2. 09/3期 業績予想



2-(1) 09/3期 業績予想

減産、為替の影響などにより減収減益



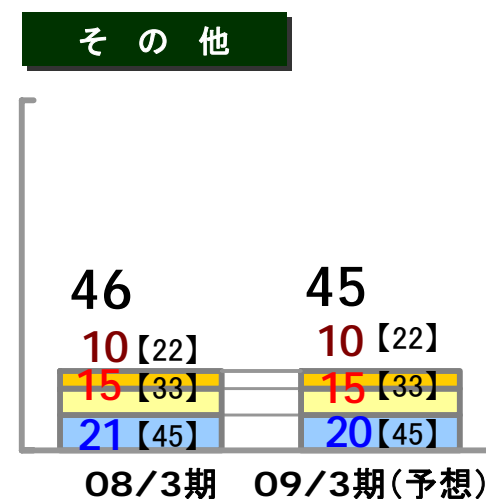
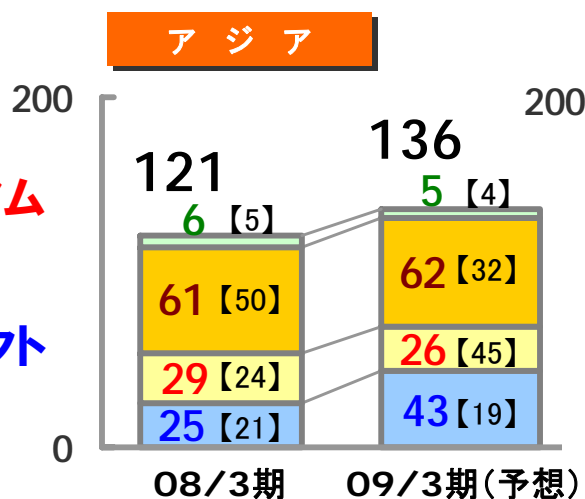
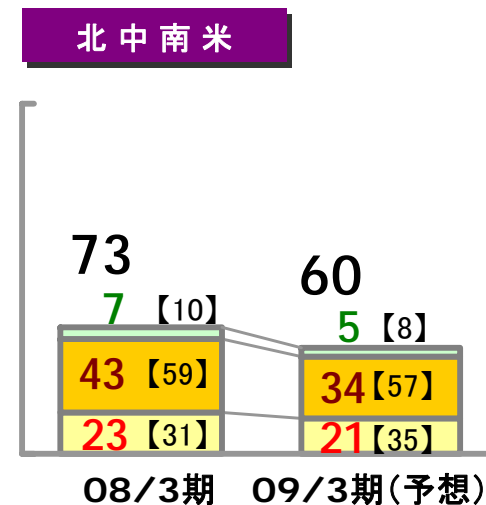
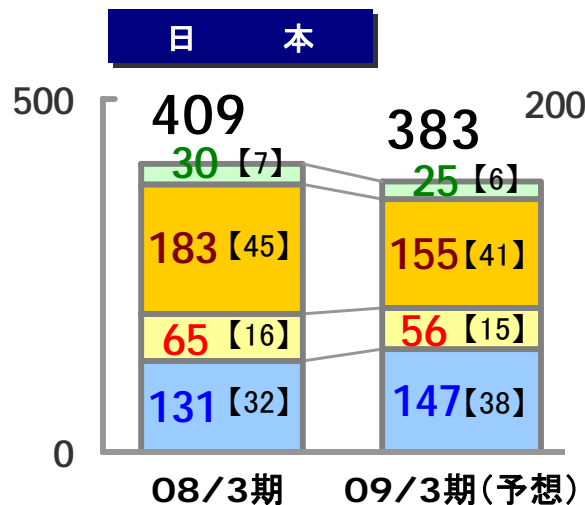
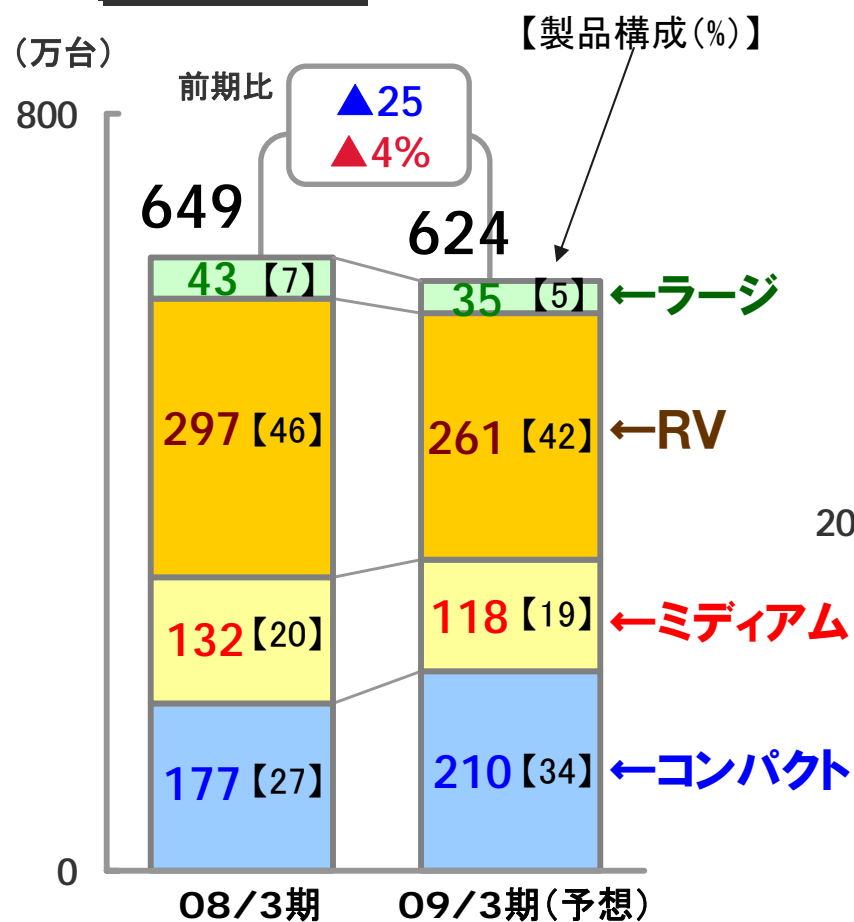
米ドル	114.28円	100.00円
人民元	15.49円	14.50円
タイバーツ	3.64円	3.00円

2-(2) 09/3期 地域別売上台数

日本・北中南米で大幅減少、コンパクト車へシフト

シートASSY台数

全体

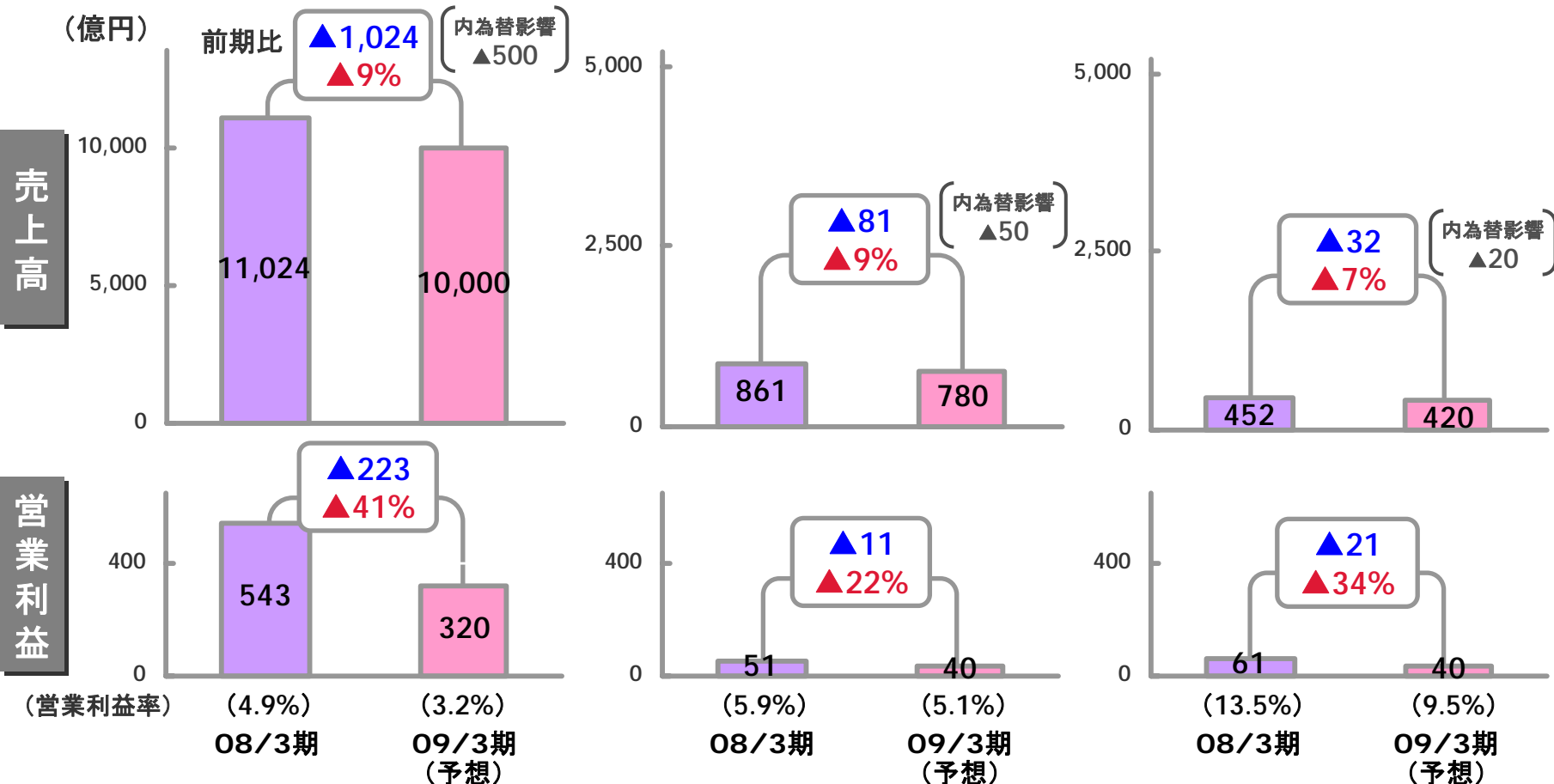


2-(3) 09/3期 事業別売上高・営業利益

内装品事業

フィルター・パワートレイン事業

繊維・外装品他事業

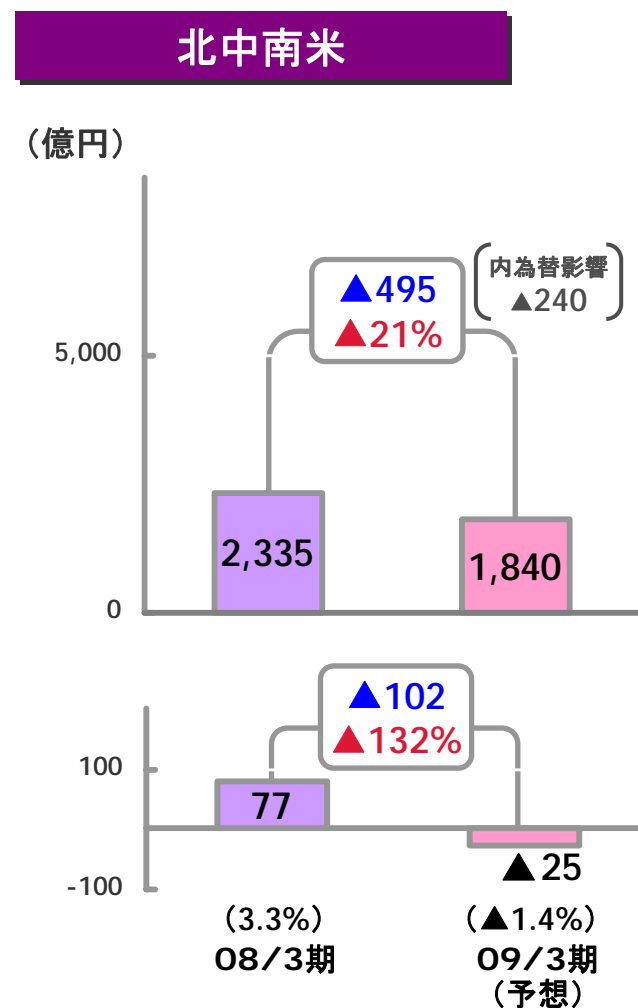
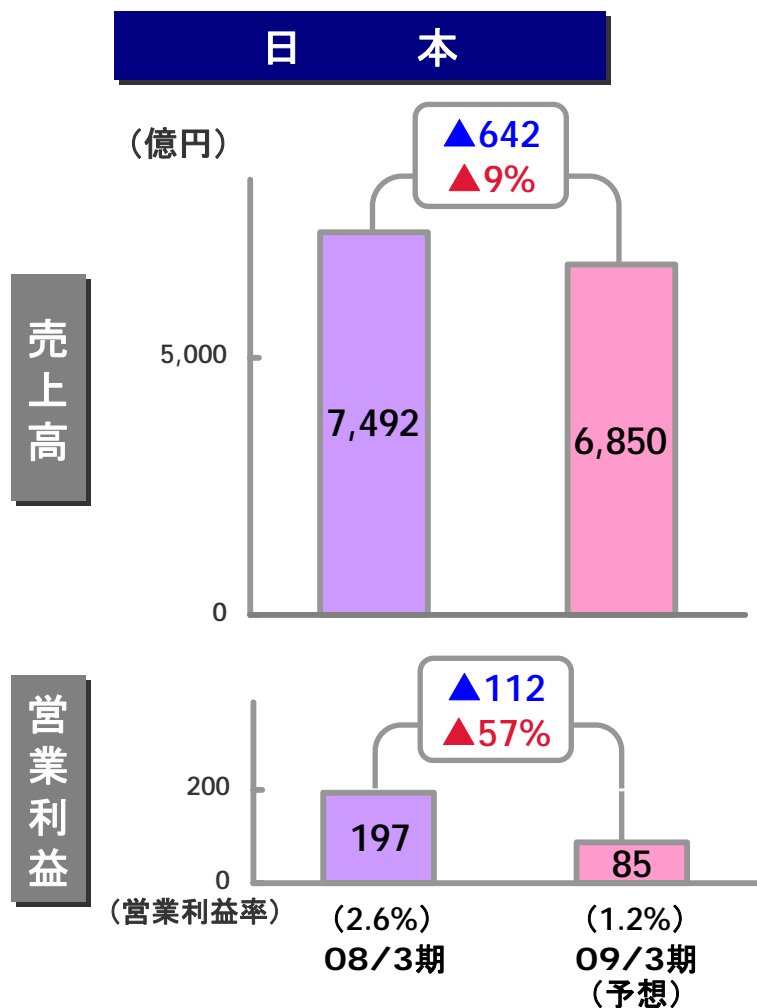


・アジアを除く、各地域での台数減や車種構成の変化などにより減収

・国内、北米を中心に数量減により減収

・バンパーなどの数量減

2-(4) 09/3期 地域別売上高・営業利益①

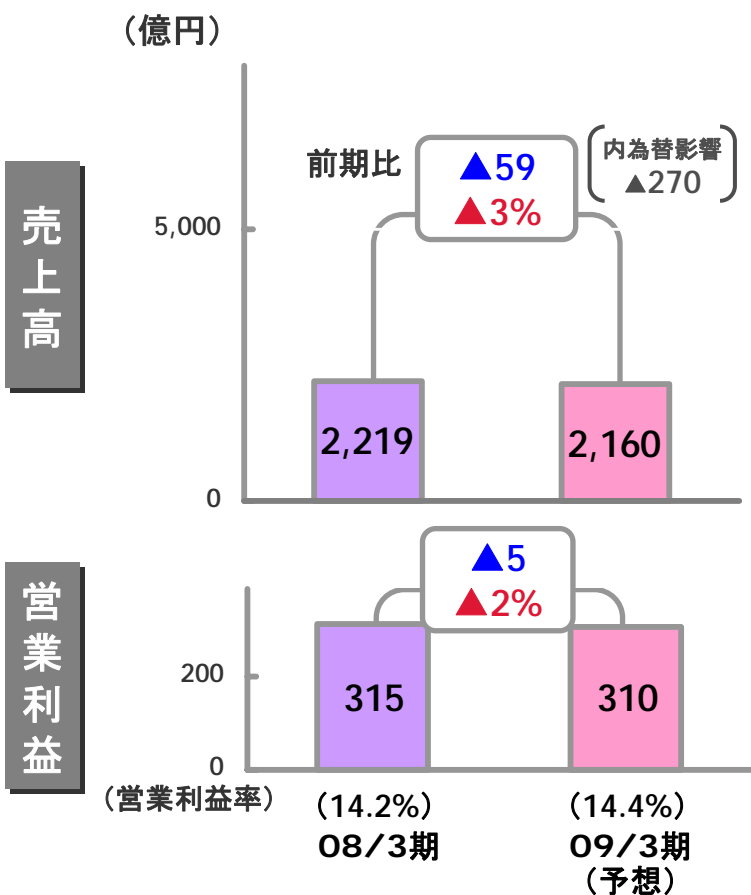


・台数減、車種構成の変化により大幅な減収
・将来のための先行投資(減益要因)

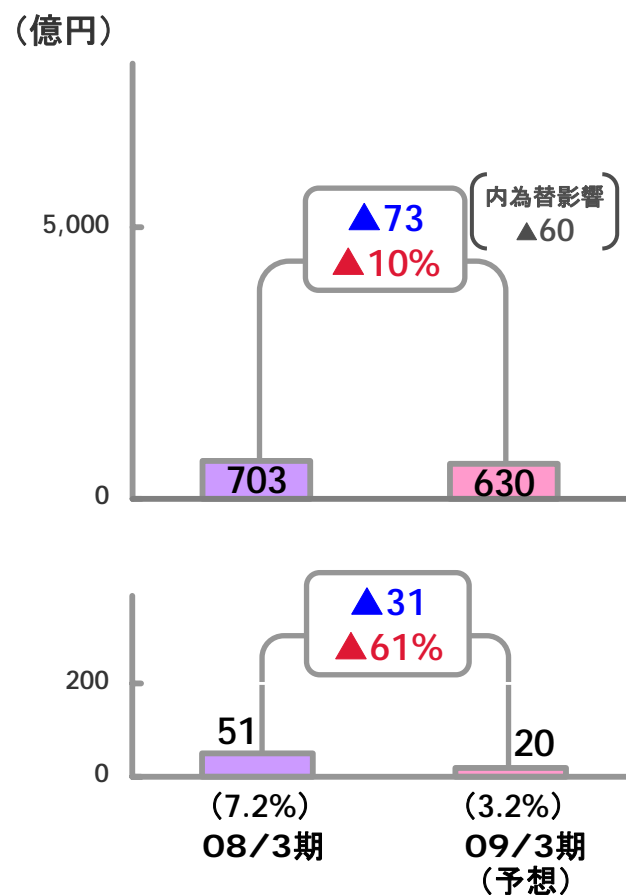
・台数減、車種構成の変化により大幅な減収

2-(4) 09/3期 地域別売上高・営業利益②

アジア



その他(欧州、南ア、豪州)

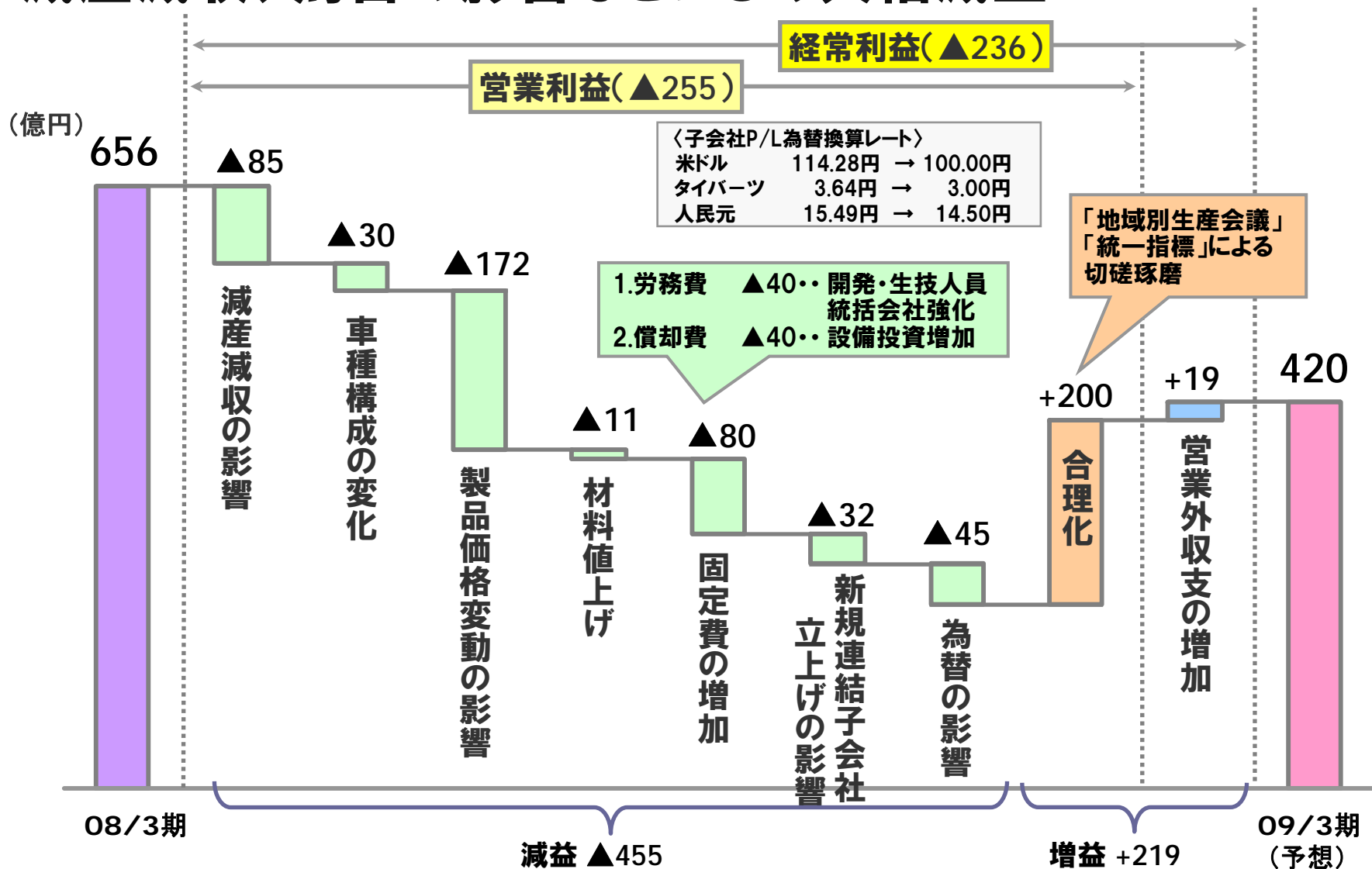


・中国天津 カローラ (前期立上り)の寄与などにより増収

・為替の影響などにより減収
 ・新規連結子会社立上り準備費用増加(減益要因)

2-(5) 09/3期 経常利益増減要因

減産減収、為替の影響などにより大幅減益



2-(6) 設備投資/経営施策①

戦略投資は継続

設備投資

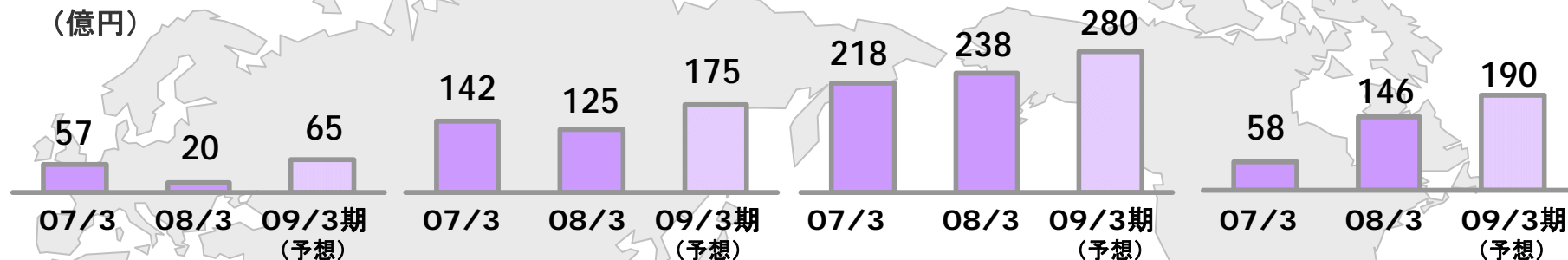
その他(欧州、南ア、豪州)

(億円)

アジア

日本

北中南米



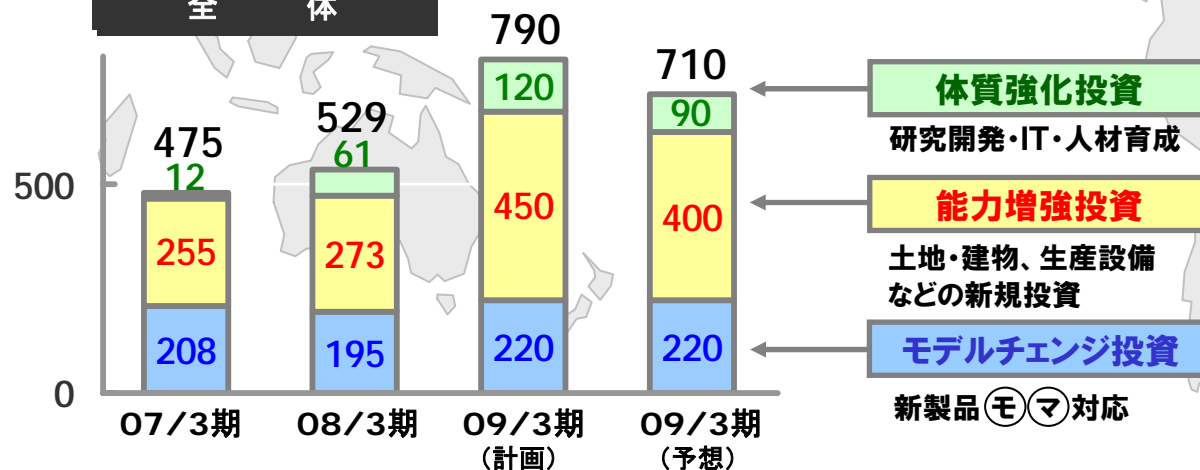
TBソマン・TBAIポーランド
など生産拠点設立

ラウンドリクライニング
現調化のための生産設備

シート骨格・革新成形機
などの生産設備

ミシシッピ、インディアナ
など生産拠点設立

全体



体質強化投資

研究開発・IT・人材育成

能力増強投資

土地・建物、生産設備
などの新規投資

モデルチェンジ投資

新製品(モ) (マ)対応

2-(6) 設備投資/経営施策②

新骨格を開発、コンパクト・高効率なモノづくりを展開 トヨタiQをスタートとして、新型車種に順次展開

軽量化・省資源化設計

新骨格：TB-NF100



【開発のねらい】

- 1) 薄型化
- 2) 軽量化・省資源化
- 3) 乗り心地性能向上
- 4) 使用性・操作性向上

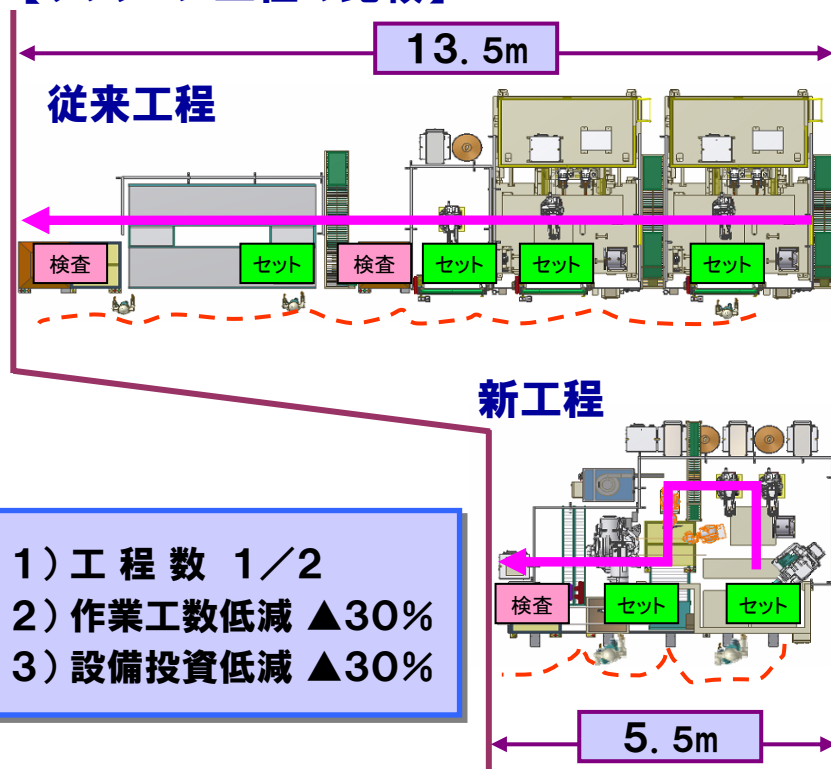
《カローラとの比較》

- 部品点数：約25%低減
- 締結点数：約20%低減
- 質量：約15%低減
- 歩留まり：約18%向上

モノづくり

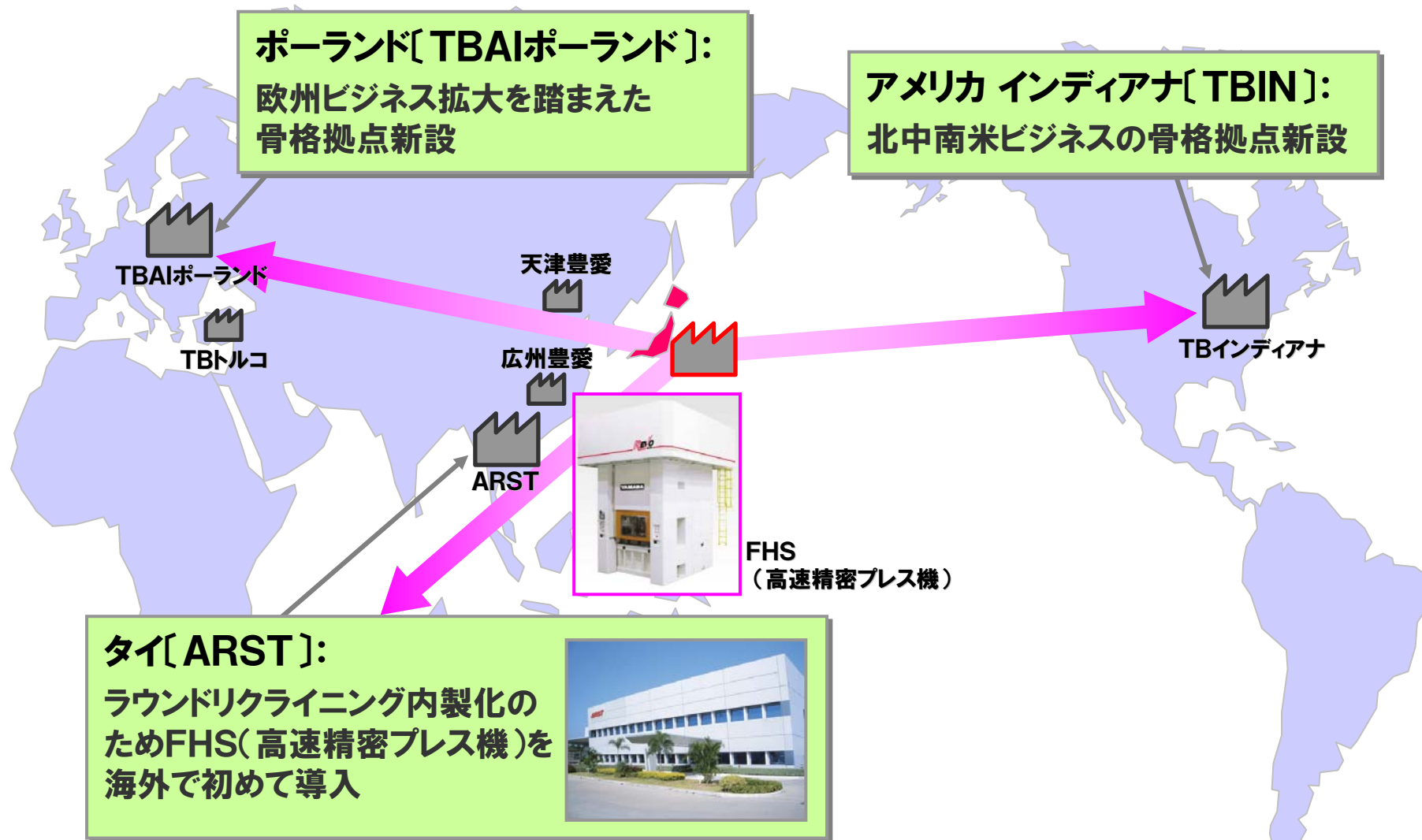
シートフレーム溶接工程の革新ライン

【クッション工程の比較】



2-(6) 設備投資/経営施策③

シート骨格・機能品の供給体制をグローバルに充実



※ FHS : Fine Hold Stamping

2-(6) 設備投資/経営施策④

新規拠点、新規モデルを展開



2-(7) まとめ①〈これまでの評価と事業環境認識〉

1. 合併以降、
グローバル事業運営のための基盤づくりを推進
◆供給体制整備／ワンカンパニー経営／グローバル開発体制整備

2. 将来のための先行施策を推進
◆先行開発、生技開発、事業領域の拡大
／新規ビジネス、新規顧客獲得施策

潮目の変化



時代の変化

1. 世界経済、事業環境は
過去にないスピードで変化
◆原油価格／自動車市場 など
2. お客様の要求レベルの高まり
◆環境／低コスト／高商品力

2-(7) まとめ②〈緊急事態への対応〉

1. 筋肉体質へ向けての徹底的な見直し

- ◆経費（日常経費・プロジェクト費用 など）
- ◆人員（グローバルな要員管理）
- ◆設備投資（生産設備以外の案件） など

2. 業務の改廃／仕事の管理

- ◆PK・IT、役割分担(含む客先)の見直し、目標・期限の共有など

3. 本部・地域統括会社、それぞれ／一体となって推進

- ◆とことん知恵だし

- ◆どうしても「やらなければいけない」案件以外は延期
- ◆投資低減 ➡ 投資削減

- ◆進行中のプロジェクトの確実な立上げ

2-(7) まとめ③〈最後に〉

◆ 合併以降の4年間、大きな変化を乗り越えてきた

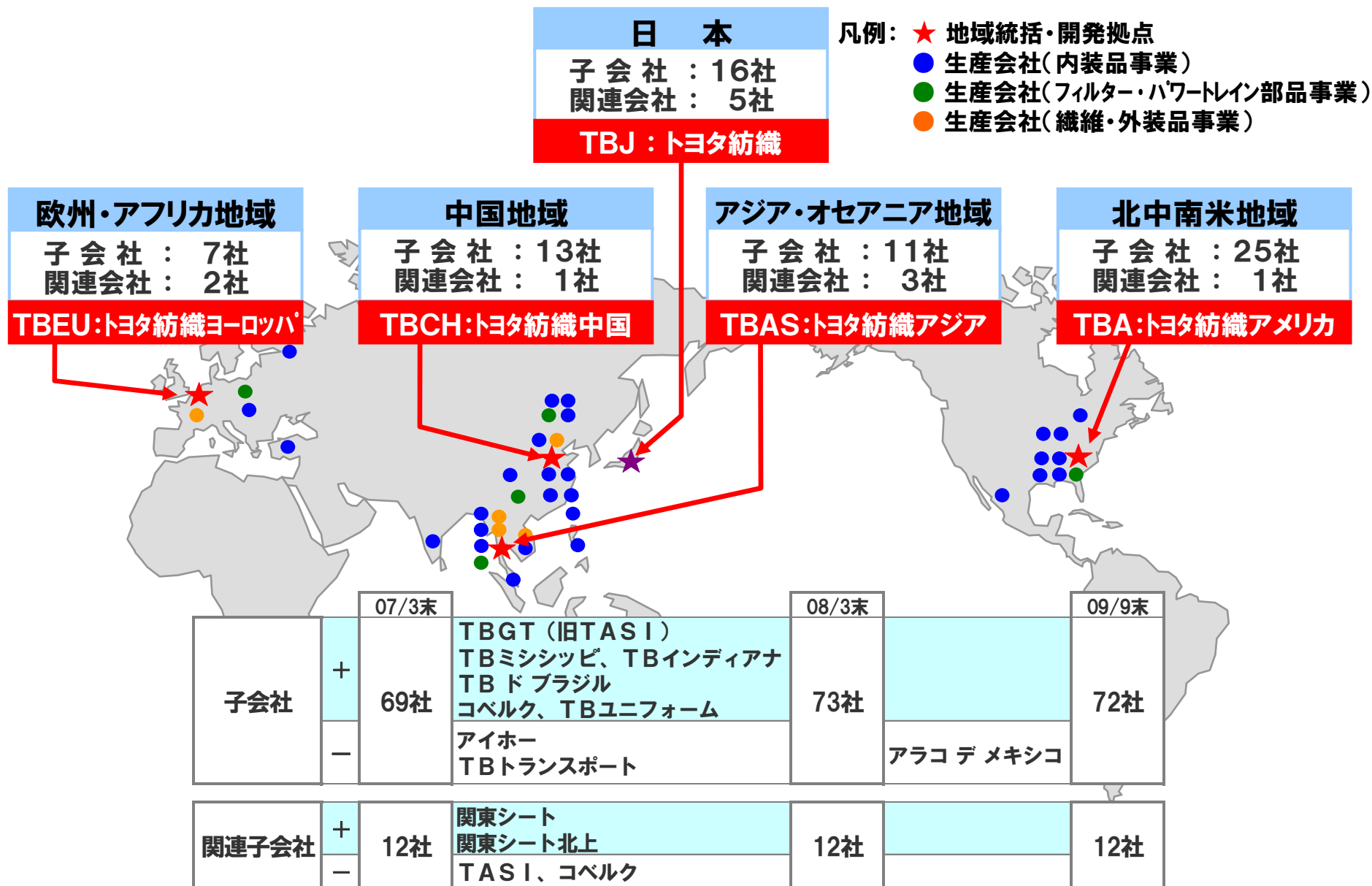
⇒1人ひとりの実力／組織の実力は、確実に向上

◆ 今、外部環境がネガティブな方向へ変化しているが、
ポジティブな効果を生み出すチャンス（ネガ-ポジ活動）

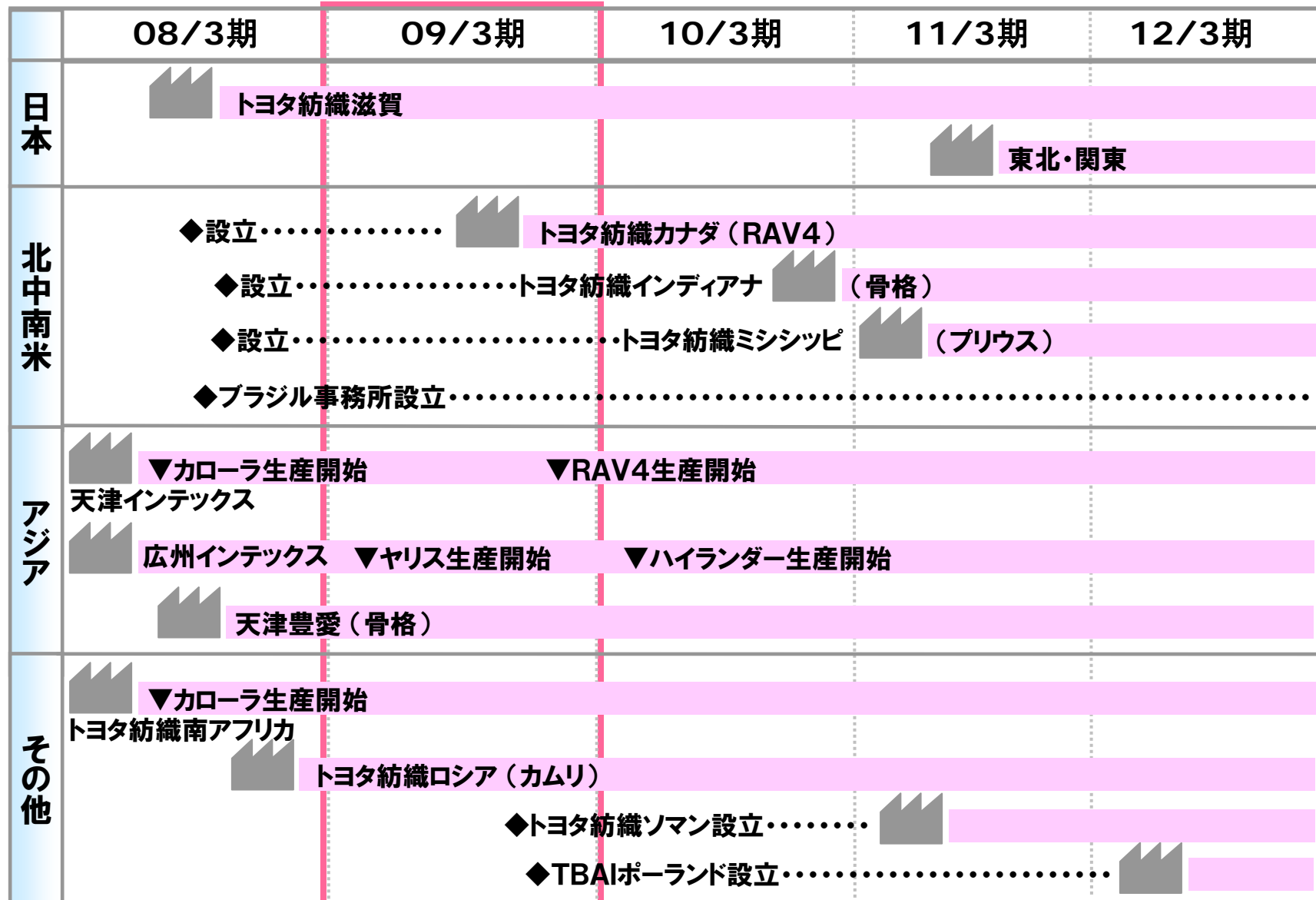
⇒人の成長／組織の成長へ

〔参考資料〕 関係会社の状況
主なプロジェクトの状況
設備投資・資金状況

〔参考資料〕関係会社の状況

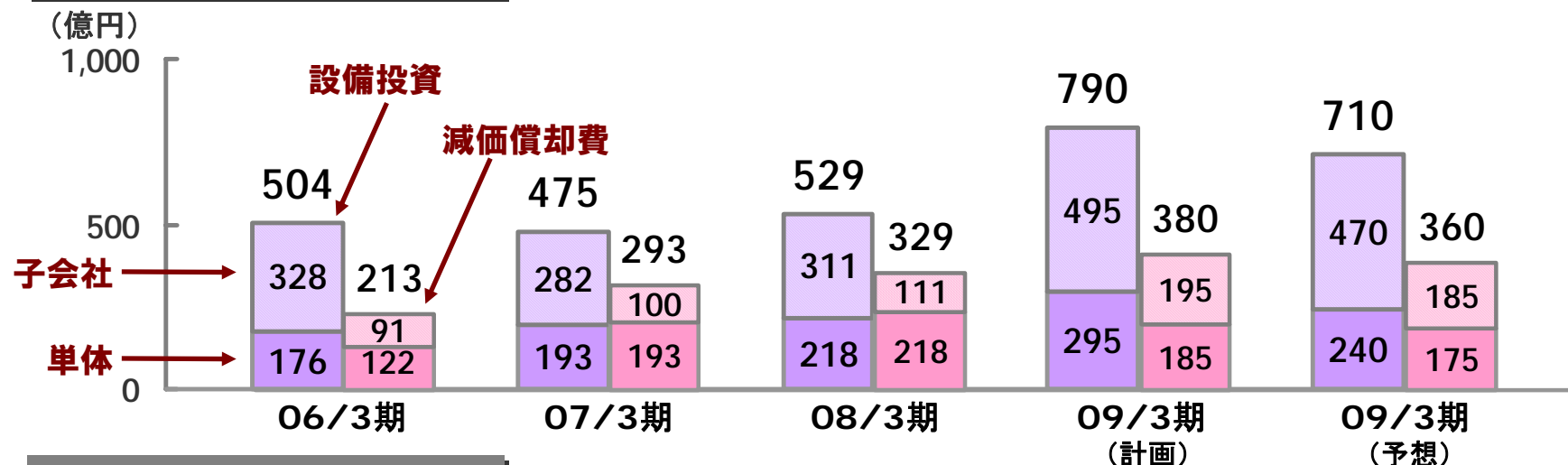


〔参考資料〕主なプロジェクトの状況



〔参考資料〕設備投資・資金の状況

設備投資・減価償却費



資金の推移(単独)

